

# 多摩支部会報

## 平成31年新春号

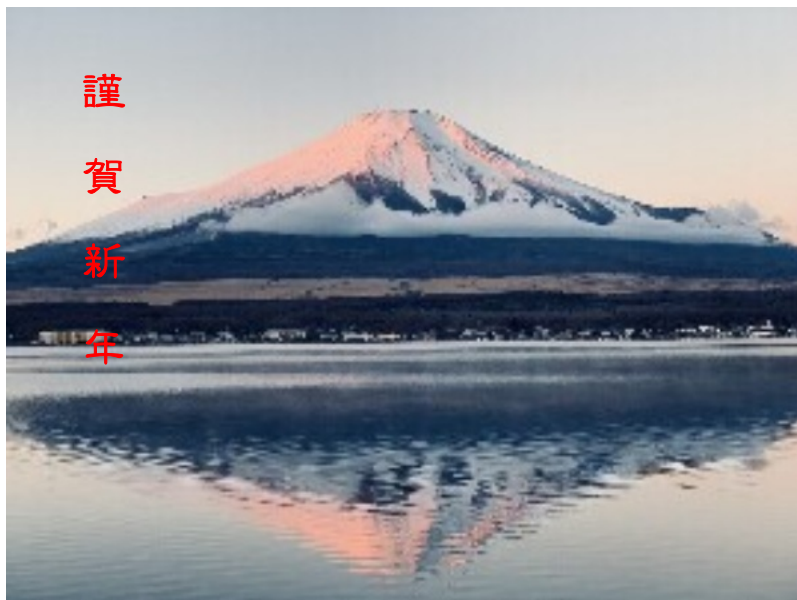
平成31年 1月 吉日

明治大学校友会  
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏

謹  
賀  
新  
年



各専門的知識が結び合う教育を実践する「混合大学」へと転換するキーストーンとしても、教養系新学部を創設したいと語っておられます。

柳谷理事長は、「世界に開かれた大学」そして「世界に発信する大学」に向けて、大きな飛躍に向けてのスタート年にする。日本における大学進学者数は2040年には約51万人となるが、世界の高等教育マーケットは拡大基調にある。

日本国内はもちろん世界における大学ランキングを意識していく。まずは、アジアのトップ10を目指すという方向性に向けて、法人としてもその実現に向けて一体となって取り組む、と力強く述べられてお



多摩支部長  
西山 強(36年・工)

元号を平成と表す最後の年「平成31年」が、厳しい寒さと快晴のもとにスタートをいたしました。「平成」の月日はあと僅か。何か感傷の気持ちが湧く

のは歳のせいでしょうか。

箱根駅伝では今年も悔しい思いをしました。選手は尚更のこと、捲土重来を期待したい。

ラグビーでは22季ぶりの大学日本一(次頁)。

年頭の挨拶をとのことですが、今回は、「明治大学広報723号」記載の理事長と学長の新春対談概要を紹介申し上げ、挨拶とします。

さて今、明治大学は3年後の創立140周年記念事業に向けて、記念式典・祝賀会・教学記念事業・スポーツ記念事業・広報戦略の4分科会が始動し、更に先の150周年を見据えた「明治大学長期ビジョン」をまとめようとしております。

土屋学長は柳谷理事長との対談の中で、どちらかという専門教育に比重が置かれていた大学教育を、企業側からも教養教育、リベラルアーツの重要性が挙げられており、社会からの要請に答えるという意味からも、基礎教養の重要性を再確認し、本来の大学の姿に戻す。総合大学から

ります。

話題はそれですが、約100年前、明治法律専門学校から大学への昇格ができたのは、「大学が永続的に運営できるよう50万円+1学部10万円の供託金」を求められたとき、当時の校友が寄付金集めに奔走したからともいわれます。明治大学の歴史は校友会の歴史でもあります。それが「明治はひとつ」の所以でしょうか。

今年は託された任期最終年、あと6ヶ月ばかりですが全力で臨みたく思います。

従前からみなさまにお願い申し上げている3つの課題＝①各地域支部の質的向上②若者及び女性の会員拡大と活用③情報の共有と活用であります。これらの課題の更なる展開に向けて努力することを申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

(優勝表示ボード・江面氏提供)



(写真：2019年元旦・河口湖)

# 【明治のプライドが勝たせてくれた】



## 明治のラグーマンにあっばれ！

(応援記&写真:江面 利和 昭47 工 日野)

1月12日(土)秩父宮ラグビー場で行われた「全国大学ラグビー選手権」は明治大学が22-17で天理大学に勝利し、22年ぶりに優勝しました！

天理大学は関西大学ラグビーリーグ戦を無敗で勝ち上がってきた強敵です。昨年の練習試合でも2敗している相手。1月2日の準決勝でも、帝京大学に1トライしか許していません。しかし、決勝戦は大学対抗戦で帝京大学に勝った時の力強さが戻ってきました。先制トライを奪われても慌てず、すぐに取り返しできたことで勝ち運を引き

寄せたと思います。

両校、決勝戦にふさわしい攻防で目が離せません。特に最後の15分間の攻防は見応えがありました。天理大も2トライを奪い5点差になり、総力攻撃の中、終了時刻のホーンが鳴り、相手ボールになってからは逆転されないよう祈るのみ。ここで勝利の女神が明治に微笑み、天理大ノックオンの反則でノーサイド。その瞬間、スタンドには大歓声が沸き起こりました。

そして、表彰式では「お～お、明治」の大合唱が…感動！！



天理大学ボールのスクラム



満員の場内(NHK総合TV)

## 編集後書

皆さま、明けましておめでとうございます。箱根駅伝でガックリ来ていた正月気分を一掃することができました。TV応援でしたが、ガツンガツンと肉体のぶつかり合いと息遣いが聞こえるような激しいタックル、スクラム、敵陣突破！思わず拳を握り身を乗り出す展開にくぎ付けになった校友も多かったものと思います。正直危なかったハラハラドキドキとはこんな試合ですね。久しく経験しなかった感じです。「人材の墓場」から復活 ラグビー明大、22季ぶり優勝との見出し記事(朝日web1月12日)も。

5月には元号も変わります。多摩支部も役員改選があります。今年も皆様に時折、「多摩支部会報」をお届けいたしますので、「記事・写真」等よろしくお願いたします。 多摩支部広報委員会一同